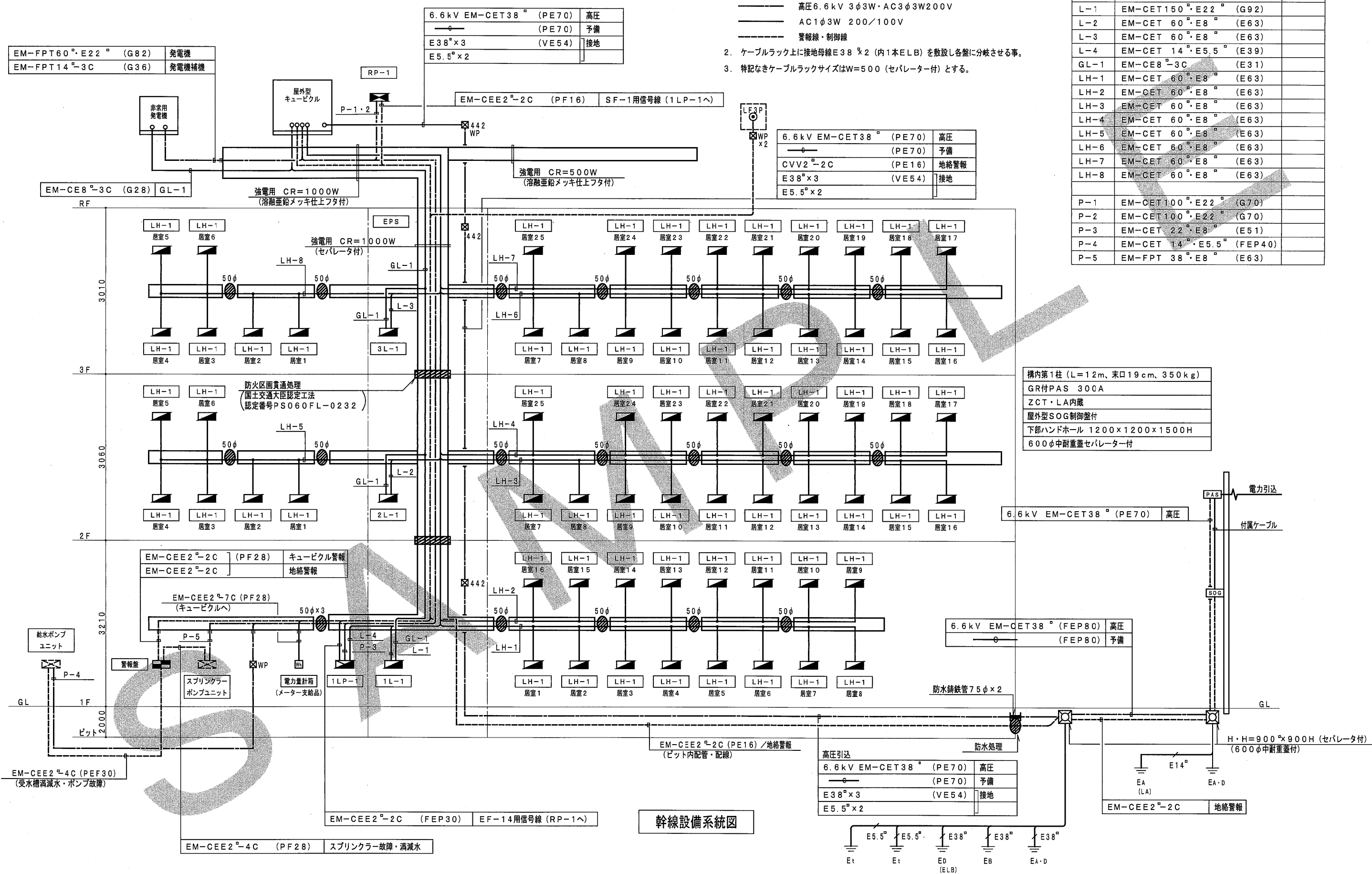


(注記)

- 特記なき配線・配管は下記とする。
 高圧 6.6kV 3φ3W・AC3φ3W200V
 AC1φ3W 200/100V
 警報線・制御線
- ケーブルラック上に接地母線E38×2(内1本ELB)を敷設し各盤に分歧させる事。
- 特記なきケーブルラックサイズはW=500(セパレーター付)とする。

幹線リスト

幹線番号	配管・配線	備考
L-1	EM-CET150°E22°(G92)	
L-2	EM-CET 60°E8°(E63)	
L-3	EM-CET 60°E8°(E63)	
L-4	EM-CET 14°E5.5°(E39)	
GL-1	EM-CE8°-3C (E31)	
LH-1	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-2	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-3	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-4	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-5	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-6	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-7	EM-CET 60°E8°(E63)	
LH-8	EM-CET 60°E8°(E63)	
P-1	EM-CET100°E22°(G70)	
P-2	EM-CET100°E22°(G70)	
P-3	EM-CET 22°E8°(E51)	
P-4	EM-CET 14°E5.5°(FEP40)	
P-5	EM-FPT 38°E8°(E63)	

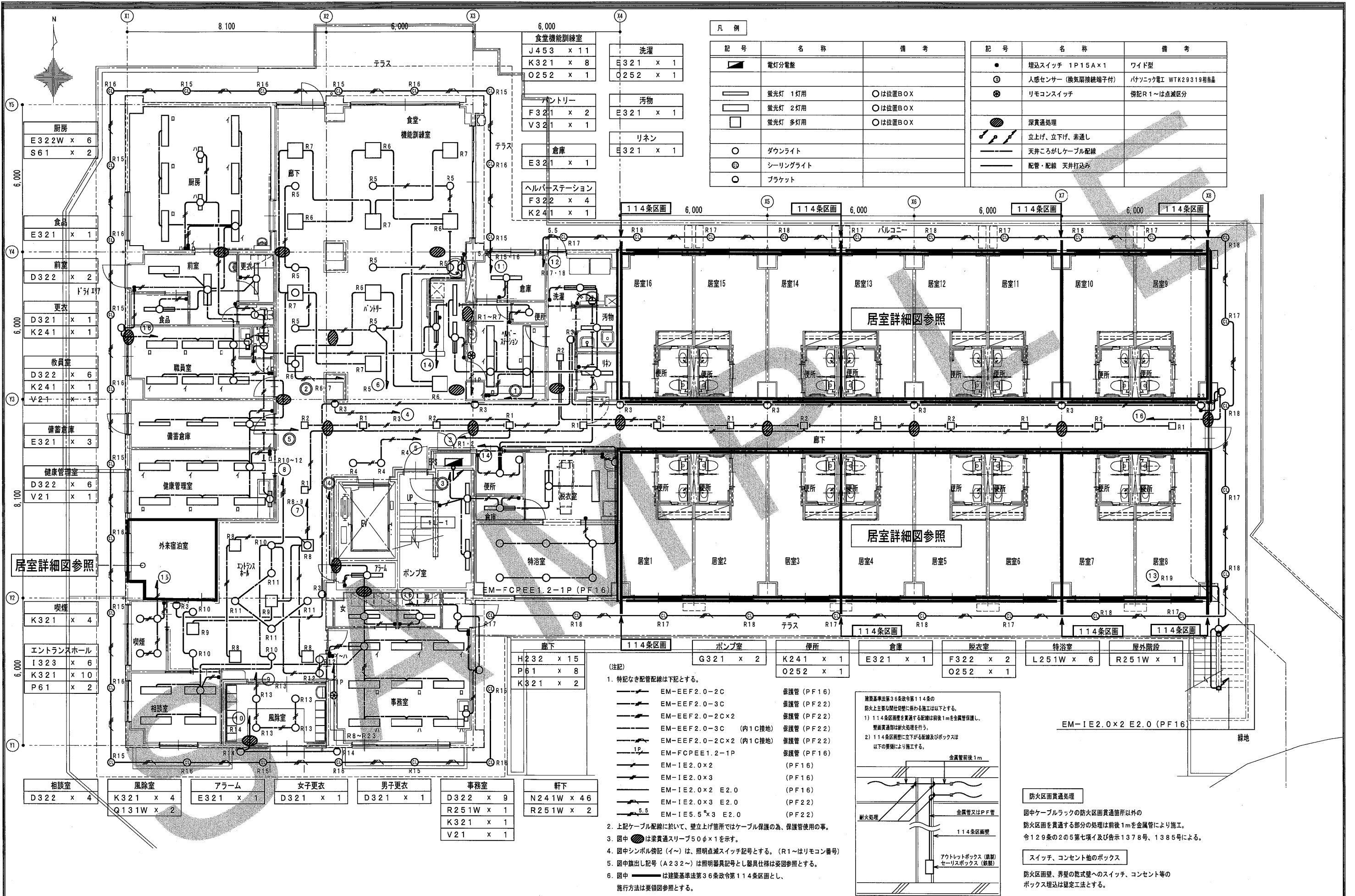


構内第1柱 (L=12m, 末口19cm, 350kg)
 GR付PAS 300A
 ZCT・LA内蔵
 屋外型SOG制御盤付
 下部ハンドホール 1200×1200×1500H
 600φ中耐重蓋セパレーター付

高圧引込	高圧
6.6kV EM-CET38°(PE70)	高圧
(PE70)	予備
E38°×3 (VE54)	接地
E5.5°×2	

幹線設備系統図

幹線設備 系統図

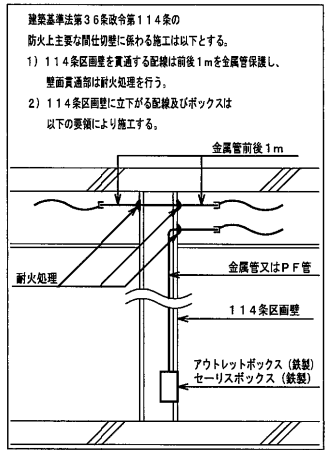


記号	名称	備考	記号	名称	備考
■	電灯分電盤		●	埋込スイッチ 1P15A×1	ワイド型
○	蛍光灯 1灯用	○は位置BOX	◎	人感センサー (換気扇接続端子付)	パナソニック電工 WTK29319相当品
□	蛍光灯 2灯用	○は位置BOX	⊗	リモコンスイッチ	傍記R1~は点滅区分
□	蛍光灯 多灯用	○は位置BOX	⊙	深貫通処理	
○	ダウンライト		⚡	立上げ、立下げ、赤通し	
◎	シーリングライト		---	天井ごしがしケーブル配線	
○	ブラケット		---	配管・配線 天井打込み	

厨房	E322W x 6
S61	x 2
食品	E321 x 1
前室	D322 x 2
更衣	D321 x 1
K241	x 1
教員室	D322 x 6
K241	x 1
V21	x 1
備蓄倉庫	E321 x 3
健康管理室	D322 x 6
V21	x 1
喫煙	K321 x 4
エントランスホール	I323 x 6
K321	x 10
P61	x 2
相談室	D322 x 4
風除室	K321 x 4
Q131W	x 2
アラーム	E321 x 1
女子更衣	D321 x 1
男子更衣	D321 x 1
事務室	D322 x 9
R251W	x 1
K321	x 1
V21	x 1

廊下	H232 x 15
P61	x 8
K321	x 2
軒下	N241W x 46
R251W	x 2

- (注記)
- 特記なき配管配線は下記とする。
 - EM-EEF2.0-2C 保護管 (PF16)
 - EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
 - EM-EEF2.0-2C×2 保護管 (PF22)
 - EM-EEF2.0-3C (内1C接地) 保護管 (PF22)
 - EM-EEF2.0-2C×2 (内1C接地) 保護管 (PF22)
 - EM-FCPEE1.2-1P 保護管 (PF16)
 - EM-IE2.0×2 (PF16)
 - EM-IE2.0×3 (PF16)
 - EM-IE2.0×2 E2.0 (PF16)
 - EM-IE2.0×3 E2.0 (PF22)
 - EM-IE5.5×3 E2.0 (PF22)
 - 上記ケーブル配線に於いて、壁立上げ箇所ではケーブル保護の為、保護管使用の事。
 - 図中 ⊙ は深貫通スリーブ50φ×1を示す。
 - 図中シンボル傍記 (イ) は、照明点滅スイッチ記号とする。(R1~はリモコン番号)
 - 図中旗出し記号 (A232~) は照明器具記号とし器具仕様は図面参照とする。
 - 図中 --- は建築基準法第36条政令第114条区分とし、施工方法は要領図参照とする。



防火区画貫通処理

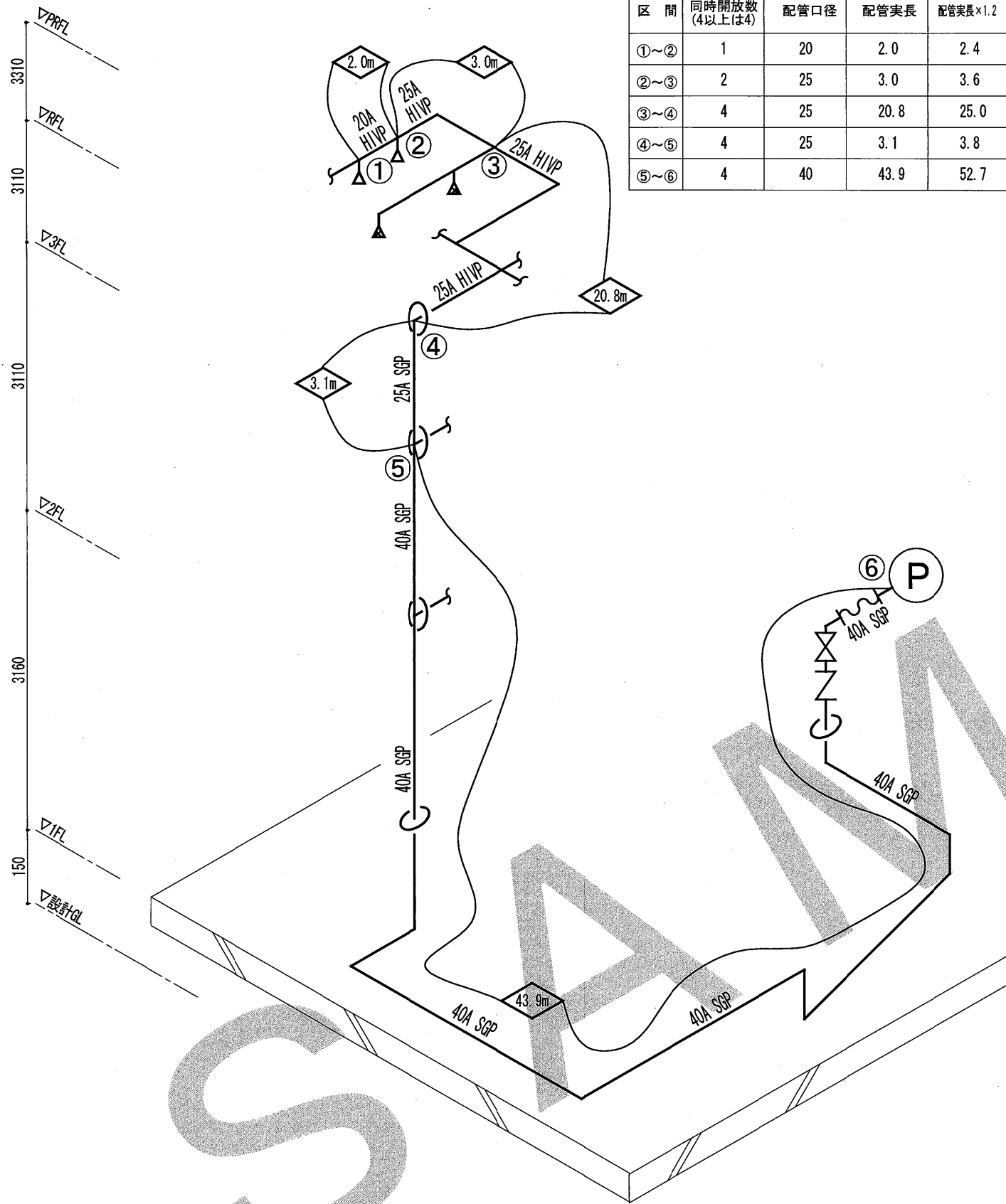
図中ケーブルラックの防火区画貫通箇所以外の防火区画を貫通する部分の処理は前後1mを金属管により施工。令129条の2の5第七項イ及び告示1378号、1385号による。

スイッチ、コンセント他のボックス

防火区画壁、界壁の乾式壁へのスイッチ、コンセント等のボックス埋込は既定工法とする。

電灯設備 1階平面図

スプリンクラー設備 アイソメ図



区 間	同時開放数 (4以上は4)	配管口径	配管実長	配管実長×1.2
①~②	1	20	2.0	2.4
②~③	2	25	3.0	3.6
③~④	4	25	20.8	25.0
④~⑤	4	25	3.1	3.8
⑤~⑥	4	40	43.9	52.7

スプリンクラー設備 計算表

1. 水源容量計算
 ※ 放水量 ヘッド1個 : 15 L/min
 ※ 同時開放数 4 個
 $15 \text{ L/min} \times 4 \text{ 個} \times 20 \text{ 分} = 1.2 \text{ m}^3 \text{ 以上}$

2. 配管損失計算
 (国土交通省建築設備設計基準平成21年度版・平成20年消防庁告示第32号による)

区間	同時開放 (個)	流量 (L/min)	管径 (mm)	エルボ 90°		テース分流		仕切弁		逆止弁		配管材料 材質	継手 相当管長 (m)	直管 (m)	総管長 (m)	損失水頭 係数	損失 水頭 (m)	
				実 数	×2 (改修係数)	個 数	直管相当数	個 数	直管相当数	個 数	直管相当数							
①~②	1	15	20	1	2	0.5	0	-				H1VP	1.0	2.4	3.4	0.04	0.136	
②~③	2	30	25	1	2	0.5	0	-				H1VP	1.0	3.6	4.6	0.06	0.276	
③~④	4	60	25	3	6	0.5	2	-				H1VP	3.0	25.0	28.0	0.18	5.04	
④~⑤	4	60	25	1	2	0.8	0	-				S G P	1.6	3.8	5.4	0.18	0.972	
⑤~⑥	4	60	40	9	18	1.3	2	-	1	0.3	1	3.5	S G P	27.2	52.7	79.9	0.03	2.397
													配管継手損失		8.83			
													放水圧力		2.5			
													実揚程		9.0			
													損失水頭合計		20.33			
													設計損失水頭合計(余裕率1.5倍)		30.5			
揚水量				60 L/min (同時開放数:4個、15L/min×4個)														

- ※直管長は余裕率として実長の1.2倍とする。
 ※継手個数は余裕率として実数の2倍(少数点以下切り上げ)とする。
 ※SPヘッドの配置は、所轄消防と協議の上、決定の事。
 ※諸官庁への届出は、工事請負者が行うものとする。
 ※埋設配管は消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管を使用

特記事項

スプリンクラー設置工事

スプリンクラー設備 アイソメ図・計算書